

# 平成29年度 英語教育強化推進事業 外国語教育強化地域拠点事業

研究発表校

宮代町立東小学校 笠原小学校 百間中学校

研究主題 「英語が使える日本人を育成するための外国語活動・英語科授業の創造」  
～聞くことを大事にした小学校での素地づくり～

東小学校、笠原小学校ではこれまでの研究成果と課題をもとに、今年度はこれまで聞きためさせた英語を読んだり書いたりする活動につなげる授業を創造してきました。

百間中学校では小学校で培った英語の素地をもとに、小学校とのつながりのある授業の創造と外国語科の学習に取り組んできました。

子供たちは英語にたじろぐことなく、話の内容を類推したり、英語らしい音声で無理なく話したり、自然にコミュニケーションを交わすことができるようになってきました。

また、たくさんのお話を聞きためさせることで読んだり書いたりする文字への学習がよりスムーズに行えるようになりました。中学校英語におけるコミュニケーションの能力の向上にもつながってきています。

(研究紀要 あとがき より)

## 研究発表会の研究授業



好きな果物や歌を、子供たちが飽きずに何度も聞いたり声に出したりできるような活動に変化をつける事を意識しました。絵本では、自然と担任と一緒に英語で読み始め、子供たちの持つ力に驚かされました。



担任のバックから何が出てくるのかな？「Water bottle!」「Pencil!」など子供たちは今まで聞いた英語を使いながら、身の回りのものを答えていました。自然と英語が出てくる子供たちにはいつも、驚かされています。



「I What's this?」のフレーズだけでなく、身の回りの物の英語の言い方をたくさん聞かせるよう意識しました。子供たちは意欲をもって授業に取り組むことができました。



「Where do you want to go?」や「You want to go to ~?」を何度も繰り返し聞かせることで、自分の行きたいところを伝える表現に慣れ親しませました。英語の音に真剣に耳を傾ける子供たちの姿がとても印象的でした。



「I'm～」を使って、外国の友だちに自己紹介をする場面を設定しました。Who am I?クイズなど興味を持って聞くことで、「I'm from～」など、初めての表現もスムーズに子供たちの耳に入ったようです。進んで自己紹介をすることができました。



もう一度修学旅行に行くなら？と自然に「What? Which?」の表現を聞かせるような場面を設定しました。スムーズに英語の表現を話す子供たちの姿を見て聞かせることの大切さを感じました。



学習した教科書の内容を、絵や写真を頼りに英語を用いてポイントを押さえながらテンポよく説明しました。さらに、話した内容を英語で書き、発展させて、自分達の学校の校舎や先生方についても楽しそうに友達と英語でやりとりしました。



関係代名詞 that (主格)の表現を用いて、ストーリーワンダーのstoryをpicture tellingを通して4人組で行い、最後は前に出て発表をしました。英語を通して自分の言いたいことを積極的に発表することができました。

## 講演

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
国際教育課

教科調査官 直山 木綿子 先生



【演題】「新学習指導要領改訂における外国語教育のあり方について」

- どの学級も子供と教師の関係が良く、学級経営が素晴らしいですね。
- 担任の先生が子供たちと自然な会話の中で英語を聞かせていますね。
- 担任の先生が上手な絵を描き、英語の意味を理解させていることが見事でした。
- 先生方に英語の修正能力が身についていますね。
- 他教科の学習内容を英語で行っているところがよかったです。
- 文法は教えないけれど文の構造に気づかせる Writing のシートが良いです。
- 読み書きの必要感を感じる活動が設定できるといいですね。
- よさを取り上げ、全ての児童にことばが身につく見取りを大切にしていきましょう。

*Kasahara&Higashi English*  
*Lesson Report No.7 より*